

R5鳳来中部 地域意見交換会

10月27日市民センターほうらい

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
鳳来中部	1	10月27日	市民センターほうらい	少子化対策について	新城市全体としてというところではありますが、毎月ほかで出生数を見ていると、本当に寂しい思いをしております。少子化に対して、お子さんを持つてるご家庭にもっと援助をしていただけたらと思います。年に5万、10万、援助をするようなことができないのか、お話いただければと思います。	少子化対策、人口対策についてですが、令和4年度につきましては、出生数約140人と聞いています。コロナ前と比べて、やはり急に減ったという事情があります。令和5年度も少子化の状況は大きく変わっていません。市ではこども園の給食費の無償化等の子育て支援策を講じています。手当を出すことで出生に繋がっていくかは課題だと思いますし、見極める必要があると思っています。ただ一方で、過去5年間振り返って調べてみますと、0歳児から園児までの転入転出については、転入の方が多いというふうな実績は確認しています。さらに年齢が14歳までみても、概ね転入の方が多いという状況になっています。これは時間をかけてではありますが、こども園制度に基づく子育て支援策の効果がでてきていると分析できるのではないかと考えています。ただ出生自体が少ないという事情があります。これまでコロナ禍でなかなか出会いの場を創造するような事業が、この3年半ほどできませんでした。コロナ前は、それぞれの地域自治区で出会いの場を創造する事業を積極的に行っていました。現在市では農協さんに委託をしまして、婚活に繋がるような活動をコロナ禍からしています。これからもさらに積極的に出会いの場を創造するような取り組みをしていこうと思っています。また傾向として、特に令和4年度、外国籍の方の人口が増えました。過去10年間振り返って、その人数を確認してみますと、大体コロナが始まった令和2年と3年は、やはり若干減少しましたが、令和4年度におきましては、大体20%ぐらい増えています。令和5年度も増加傾向が続いております。技能実習、市内の企業に勤める方、語学を学ぶために来てる若い方の転入もあります。そうした外国籍の方たちが住みやすいような環境をつくるには、地域の皆様のご理解とご協力、受け入れる体制が必要だと思っています。これらのことを大切に考えながら、住みやすい地域づくりを考えていかなければいけないと思っています。(市長)	左の回答等のとおりです。(健康福祉部長、企画部長)
鳳来中部	2	10月27日	市民センターほうらい	新城東高校跡地について	新城東高校跡地についての集会(まちづくり集会)に参加しましたが、この後どうなったのかお聞きしたいです。	まちづくり集会に参加いただき、ありがとうございます。昨年9月にまちづくり集会を開催し、皆様から様々なご提案、ご意見をいただきました。やはり皆さんの新城東高校跡地に対する関心の高さをまちづくり集会を通して強く実感しました。閉校が決まってから、市では庁内で跡地の活用について検討してきました。そして昨年開催されました「新城東高校の跡地について」というテーマのまちづくり集会では、グラウンドがあるのがスポーツができるような拠点、観光に繋がるような活用方法、商業施設の誘致、医療施設、福祉施設の誘致はどうだろうかという様々な意見が出ました。また新城市議会からも同時に意見をいただきました。新城市商工会で、跡地についての検討会議の会議体を作ってくださいまして、そこからも要望いただきました。最終的にそれらの様々なご提案を受けとめまして、今年3月の下旬に所有者である愛知県に対しまして、新城東高校の跡地を医療福祉、健康増進、これらの分野で活用していきたいという市の方針を表明しました。この活用方針表明以降、活用に向けた諸条件に関するやりとり、また関係部署への確認を所有者である県に行っているところです。まず今年7月には、グラウンドの跡地につきまして、管理運営委託契約を県と締結しました。これは新城市が草刈の管理を行う一方で、グラウンドを活用できるという内容になっていますので、現在グラウンドの開放に向けた調整を行っているところです。今後についてはグラウンドの暫定活用を行いつつ、本活用に向けた検討を進めていく予定です。令和5年12月までに跡地の有効活用についての基本構想を策定してまいります。11月17日には、基本構想案を市民の皆さんにお示しし、それに対してパブリックコメントという形で、市民の皆さんから意見をいただく期間を1ヶ月ほど設ける予定です。その基本構想に基づきまして、令和7年の3月に基本計画を策定していきます。(市長)	「元新城東高等学校用地活用基本構想(案)」を作成し、令和5年11月17日から令和5年12月18日までパブリックコメントを実施し、市民の方々のご意見を頂戴しました。現在寄せられたご意見をとりまとめ、令和6年1月末を目処に「元新城東高等学校用地活用基本構想」を策定していきます。(企画部長)
鳳来中部	3	10月27日	市民センターほうらい	新城市民病院について	三豊市の市民病院の建て替え時に井関友伸さんがアドバイザーとして関わり、ローコストで建て替えを実現したそうです。新城市も三豊市を参考にしてほしいと思います。ぜひ視察にも行ってきてください。	三豊市の事例についてですが、初めてお聞きしましたので三豊市の市民病院の建築については承知しておりません。一度確認をさせていただき、今後の検討材料にきつとならうかと思っておりますので、参考にさせていただきたいと思っております。(市長)	左の回答等のとおりです。(経営管理部長)
鳳来中部	4	10月27日	市民センターほうらい	長篠こども園の道路整備について	長篠こども園の駐車場についてですが、カープもしており未舗装です。入口付近道路の安全確保と舗装化を含む整備計画について教えてください。	県道の安全対策につきましては、市の土木課を通して長篠こども園のカープの危険性度等、駐車場についての状況を確認し、県へ要望して参ります。具体的にどの様な安全確保が必要なのかをお知らせいただければ対応いたしますのでご意見いただけたらと思います。(市長)	左の回答等のとおりです。(建設部長、健康福祉部長)

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
鳳来中部	5	10月27日	市民センターほうらい	空き家、耕作放棄地について	空き家(危険家屋)や耕作放棄地などに対する今後の対策について教えてください。	<p>空き家の課題につきましては、まず利活用に向け取り組んでいます。老朽化が進んで、倒壊の恐れのある危険家屋の対策があると思います。今年度の市の取り組みとしては、固定資産税の納税通知の中に担当部署の連絡先を記して「空き家を利活用しませんか」という案内を同封し発送をしました。市外在住で、市内に空き家を所有している方から、40件以上の問い合わせがありました。また、今年のお盆に帰省される方に対し、「空き家を利活用しませんか」と促してもらえませんかと区長さんをお願いをさせていただきました。昨年の4月からは、移住定住係を設置しており、移住を希望している人たちへ必要な情報提供をワンストップで行う体制も整っており、今年2月からは移住ポータルサイトを作り運用を始めました。特に首都圏を中心とするお住まいの方で、田舎暮らしがしたいと考えている人たちが、相談に行く場所に「NPO法人ふさと回帰支援センター」が東京にあります。新城市も会員になりまして、そちらで情報提供できるような体制を4月からとっています。そこでは移住フェアがあり、市の担当職員が首都圏での相談に来られる方の対応をして、新城市の魅力を伝えていきます。</p> <p>危険家屋につきましてはですけども、家が老朽化して倒壊の恐れがあるような空き家で、特に隣の民地の建物に近いものや公道に近く通行量の多い国道や通学路がある場所など、倒壊したら大変危険だというものにつきましては、空き家等対策特別措置法に基づきまして、特定空き家に指定いたします。現在まで43件の建物に対し指導や助言をさせていただき、所有者の費用で除却をしていただいています。今現在、その特定空き家に該当する建物はまだ32件ありますので、所有者の方に指導や助言をしている状況です。</p> <p>耕作放棄地につきましては、これまでのように全ての農地を土地所有者や地域の方で守っていくことは、今後難しい状況にあります。そのため、地域と共に話し合っ、今後農地をゾーニングして守っていくべき農地を明確にして、そこをしっかりと耕作をしていくことが大切だと思っています。市では、農地を貸したいという方の農地情報をまとめており、農地を借りて耕作をしたいという方が見えた場合には情報提供して、マッチングも行っており、農地の利用に繋がるような方策を生み出していきたいと考えています。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(建設部長、産業振興部長、企画部長)
鳳来中部	6	10月27日	市民センターほうらい	人口ビジョンについて	市の人口ビジョンと地域創生戦略の進捗状況について教えてください。	<p>市でなかなか働くところがないから、市外に若者が出ていってしまうと言われる方が多いのですが、決してそんなことはなく市内には大手企業はあります。企業の中には工場を拡張したいという考えを持つ企業もあります。そのためには、やはり人が必要だということで、人材確保に企業は大変苦慮しているという事情もあります。もちろん、進学をする段階で市外に出る方もいますが、戻ってきて働く場所が新城市にもありますので、ぜひ認識を変えていただきたいと思います。最近の製造現場は、作業管理が大変よく、機械も優れており、衛生的で労働環境がいい場所も増えてきています。事業拡大に向け、地元の高校生に就職していただきたいという企業もありますので、若い方へ向け市内の企業紹介をしていく必要があると思っております。</p> <p>どうしても15歳から19歳の年代の方が、20歳から24歳までになるその年代層の転出がやはり一番多いので、そこを少しでも均等化していくということが一つの重要なポイントで、総合計画の重点目標としても掲げています。そのために、様々な若者政策、こども園の園整備、子ども医療費の市の支援等、確実にできることをやっていくに尽きるのではないかと思います。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(産業振興部長、企画部長)
鳳来中部	7	10月27日	市民センターほうらい	市の財政状況について	市の財政状況と「社会インフラの長寿命化整備」の現状と課題について教えてください。	<p>社会インフラの長寿命化整備についてですが、市が関わるベースに携わるものにつきましては、水道、市道をはじめとする道路、グリーンセンターなどの衛生関連施設、通信等につきましては、それぞれの個々の計画に沿って整備を進めています。しかし、どうしても市税の歳入の減少であったり、どうしても必要である事業費が出る大型事業の実施もありますので、財源確保が大変厳しい状況があります。最小限の修繕であったり代替方法の検討実施により施設維持に努めているところですが、今後、さらなる歳入の減少が長期的に続くと思いますので、優先度を間違えないように、施設の維持、サービスの提供を行うよう検討をしなければならないと考えています。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(総務部長)
鳳来中部	8	10月27日	市民センターほうらい	東三河広域連携による「医療体制整備」について	東三河広域連携による「医療体制整備」の現状と課題について教えてください。	<p>新城市市民病院ですが、総合診療科の先生が一定程度定着をいただけておかげで、救急の受け入れにつきましては、この管内の救急出動の第一報の約6割近くを新城市市民病院で受け入れることができています。これは5年間ぐらいずっと同様の状況で、救急対応ができています。ただ一方で、医師が不在の診療科もあり、循環器系の疾患の救急につきましては、豊橋市民病院であったり、また豊川市民病院と連携をして、受け入れていただく必要がある状況です。東三河南部医療圏の各医療機関との連携をしっかりと行っていき、なお一層これから不足している医療機能を補う上で不可欠な取り組みですので、今後さらに連携を強化していく必要があると思っております。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(経営管理部長)
鳳来中部	9	10月27日	市民センターほうらい	交通系ICカードについて	JR飯田線についてですが、交通系ICカードが使用できないことで、観光地としてデメリットが大きいと思います。また、ICカードの定期がないことは、通勤、通学に不便です。ぜひ導入してほしいです。	<p>交通系ICカードを使える状況にしたいと愛知県と一緒にJRに要望は続けております。ただ、どうしてもJR飯田線の利用者数が一つの判断になりますので、その点でなかなか厳しい現状にあるのかなと思います。引き続き交通系ICカード設備設置の要望はしっかりと行っていきたいと思っています。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(市民協働部長)
鳳来中部	10	10月27日	市民センターほうらい	市民が利用できる施設について	鳳来にもついで交流館のような、小さなホールがあったり、小さな子供が遊べるような部屋があったりとか、建物の中にトイレがあって、ちょっとした図書館があったりとか、そういう施設がほしいです。また、地元で頑張っている人たちが個々に頑張っている人たちにスポットが当たるような仕組みってこのを作りたいと思います。もう少し芸術や文化っていうところにスポットライトが当たるといいと思っています。	<p>鳳来には屋外にはありませんが、ふれあいパークほうらいがあり、ステージもありますし、ステージ前には芝生上の広いスペースがあります。そうした場所も活用していただければと思います。この鳳来地区でも支所が新しくなりまして、市民センターとしてこの場所が使えますので、ここを一つの拠点として考えていただけたらと思いますし、また皆さんからの活用について要望も出していただければと考えています。</p> <p>文化活動については、文化協会会長さんをはじめ役員の方々から、会員数が減少する中、次の世代に文化活動を継承していくことの難しさが課題のひとつとなっていると聞いています。若者議会の発案で芸術、文化団体と幅広い市民をつなぐ「趣味活サイト」というものを作り活動団体の紹介などを行っています。「趣味活サイト」では、さまざまな活動団体が登録していただけますので、幅広い年代の人に加わっていただくことで活動の輪が広がり、より一層、文化芸術の振興に繋がると考えています。そして、この地域で頑張っている人達が伸び伸びと生き生きと活動できることにも繋がっていくと思っています。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(鳳来総合支所長、教育部長)

R5 鳳来中部 地域意見交換会

10月27日市民センターほうらい

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
鳳来中部	11	10月27日	市民センターほうらい	長篠城址史跡保存館について	長篠城址史跡保存館の改修、建て替え等の進捗状況はどうなっていますか。	保存活用計画に基づきまして、短期的に整備が必要なこと、準備していくべきこと、中期的、長期的にやるべきことを踏まえて進めていくという考え方であります。今年、長篠の戦いが注目される1年でしたので、環境整備については地元の方のお力も借りながら一定程度できたと思っています。まだまだ不十分な部分がありますので、史跡保存館からの景観がより良くなるような整備をまずはやっていきたいと考えています。(市長)	国指定史跡長篠城跡の保存と活用に努めていく中で、長篠城址史跡保存館の建替等については、設楽原歴史資料館との差別化を図ること、施設の複合化や再編、建物建設の規模や展示内容、用地選定や費用など、想定される様々な可能性と課題に対して市にとって有益となる将来ビジョンをどのように描いていくのかなど、庁内会議で検討と議論を今年度は新たに取り組んでいます。(教育部長)
鳳来中部	12	10月27日	市民センターほうらい	自治区制度について	平成24年に新城の自治区制度の条例ができて10年近くなりますが、体制について見直し検証の時期にきていると思います。ぜひ見直し検討をお願いします。	地域計画推進体制を整える上で、10の自治区から推進体制をそれぞれどのようにしていくのか提案をいただいています。他の協議会からも自治区予算と地域活動交付金のあり方の見直しの提言もいただいています。また自治区の体制のあり方についても提案いただいていますので、条例改正しないといけない部分も今後出てくると思っています。体制自体の見直しをかけていく時期でありますので、今後検討をしていきます。(市民協働部長)	左の回答等のとおりです。(市民協働部長)
鳳来中部	13	10月27日	市民センターほうらい	自治区制度について	自治区制度ができ、10年経ちました。これからの10年は地域が自分たちで自治を進める仕組みみたいなものを作ることが必要だと思います。いわゆる仕組みを作るためのソフト事業を自治区としては考える必要があるのかなと思っています。ただ、担当課によっては手間暇かかるソフト事業についてはなかなかいい返事がもらえない状況です。どんな自治区制度、仕組みというものに育てていくのか、地域にお任せではなくて、新城市としても課題を明確に示して、どうしたらその問題を共同して解決していけるのか、新しい新城市を支える自治区というイメージみたいなものを示していただけるとありがたいです。	奥深いところまで地域協議会をみていただきありがとうございます。各協議会によって温度差もありますし、特にソフト事業になりますとすべて市の事業にそぐわないもの、また地域格差があってはいけないものもありますので、すべてできるわけではありません。しかし、内部の風通しはやはり良くしていかなくてはならないことは常日頃思っていますので、努力していきたいと思っています。(市民協働部長)	左の回答等のとおりです。(市民協働部長)